

失格基準価格＜算出例＞

1 入札書比較価格 1,000,000 円の建設コンサルタント等の業務委託の失格基準価格を算出します。

予定価格	1,080,000
入札書比較価格	1,000,000

以下のような 10 者の入札があった場合

No.	会社名	入札金額 (税抜き)
①	A 者	780,000
②	B 者	800,000
③	C 者	810,000
④	D 者	820,000
⑤	E 者	840,000
⑥	F 者	850,000
⑦	G 者	860,000
⑧	H 者	890,000
⑨	I 者	910,000
⑩	J 者	1,050,000

2 ⑩ J 者の入札金額は、入札書比較価格を超えているため、算定対象から除外します。

No.	会社名	入札金額 (税抜き)	備 考
①	A 者	780,000	
②	B 者	800,000	
③	C 者	810,000	
⑪	D 者	820,000	
④	E 者	840,000	
⑫	F 者	850,000	
⑦	G 者	860,000	
⑧	H 者	890,000	
⑨	I 者	910,000	
⑩	J 者	1,050,000	入札書比較価格を超えているため算定対象から除外

3 算定対象の平均値を次式により算出します

【計算式】

平均値： $\Sigma x / n$

Σx ：算定対象者の入札金額の合計

n ：算定対象者数

(計算例)

算定対象 (①～⑨) の平均値を算出します。

$\Sigma x =$

780,000+800,000+810,000+820,000+840,000+850,000+860,000+890,000
+910,000=7,560,000

$n = 9$

平均値 = $\Sigma x / n = 7,560,000 / 9 = 840,000$ (小数以下切り捨て)

4 算定対象の標準偏差を次式により算出します。

【計算式】

標準偏差：
$$\sqrt{\frac{n \Sigma x^2 - (\Sigma x)^2}{n^2}}$$

n ：算定対象者数

Σx^2 ：算定対象者の入札金額の2乗の合計

$(\Sigma x)^2$ ：算定対象者の入札金額の合計の2乗

(計算例)

算定対象 (①～⑨) の標準偏差を算出します。

$n = 9$

$\Sigma x^2 =$

$(780,000)^2 + (800,000)^2 + (810,000)^2 + (820,000)^2 + (840,000)^2 + (850,000)^2$
 $+ (860,000)^2 + (890,000)^2 + (910,000)^2$
 $= 6,364,800,000,000$

$(\Sigma x)^2 =$

$(780,000+800,000+810,000+820,000+840,000+850,000+860,000+890,000$
 $+910,000)^2$
 $= 57,153,600,000,000$

標準偏差 =
$$\sqrt{\frac{9 \times 6,364,800,000,000 - 57,153,600,000,000}{(9)^2}}$$

 $= 40,000$ (小数1位を四捨五入、整数止め)

5 平均値±標準偏差×1.5の範囲外にある入札金額を算定対象から除外します。

(計算例)

平均値＋標準偏差＝840,000＋40,000×1.5＝900,000(小数1位を四捨五入、整数止め)

平均値－標準偏差＝840,000－40,000×1.5＝780,000(小数1位を四捨五入、整数止め)

⑨ I 者の入札金額は 780,000 円から 900,000 円の範囲外となるため、算定対象から除外します。

No.	会社名	入札金額(税抜き)	備 考
①	A 者	780,000	
②	B 者	800,000	
③	C 者	810,000	
④	D 者	820,000	
⑤	E 者	840,000	
⑥	F 者	850,000	
⑦	G 者	860,000	
⑧	H 者	890,000	
⑨	I 者	910,000	平均値±標準偏差の範囲外のため算定対象から除外
⑩	J 者	1,050,000	入札書比較価格を超えているため算定対象から除外

6 A 者の入札金額は、80%相当額未満であるため、入札比較価格の 80%相当額以上の入札金額(②～⑧)で、失格基準価格を次式により算出します。

【計算式】

失格基準価格＝
$$\frac{\text{相当額以上の者の価格合計}}{\text{相当額以上の者の数}}$$

(計算例)

80%相当額以上の入札金額(②～⑧)で、失格基準価格を算出します。

失格基準価格＝

$$(800,000+810,000+820,000+840,000+850,000+860,000+890,000) / 7$$

＝839,000 円(百の位以下を切り上げ、千円止め)

No.	会社名	入札金額(税抜き)	備 考
①	A 者	780,000	80%相当額未満のため算定対象から除外
②	B 者	800,000	
③	C 者	810,000	
④	D 者	820,000	
⑤	E 者	840,000	
⑥	F 者	850,000	
⑦	G 者	860,000	
⑧	H 者	890,000	

⑨	I 者	910,000	平均値±標準偏差の範囲外のため算定対象から除外
⑩	J 者	1,050,000	入札書比較価格を超えているため算定対象から除外

(計算例)

よって、失格基準価格は839,000円となり、⑤E者が落札者となります。

No.	会社名	入札金額(税抜き)	備 考
①	A 者	780,000	失格
②	B 者	800,000	失格
③	C 者	810,000	失格
④	D 者	820,000	失格
⑤	E 者	840,000	落札者
⑥	F 者	850,000	
⑦	G 者	860,000	
⑧	H 者	890,000	
⑨	I 者	910,000	
⑩	J 者	1,050,000	

～参考～

エクセル関数を利用して標準偏差を求めることもできます。

=STDEVP (780000, 800000, 810000, 820000, 840000, 850000, 860000, 890000, 910000)
=40,000 (小数1位を四捨五入、整数止め)